

委員意見と対応方針

令和6年度 第2回環境審議会 委員意見

I 現行計画の検証及び福岡市の環境の現況等

整理番号	委員意見	対応方針	今までに対応	次回以降で対応
1	博多湾について、土砂の採取による窪地が存在している影響などで、貧酸素水塊が継続的に発生していると思う。貧酸素水塊を解消することは難しいが、測定地点や評価方法について検討してもよいと思う。	現在、国が窪地の埋め戻しを行っており、埋め戻しが完了次第、状況を確認した上で、今後の対策を検討したい。	●	●
2	自動車部門のCO2排出量（車種別）について、車種別の構成等を全国と比較・分析することで、エビデンスに基づく具体的な政策立案に繋がると思う。	詳細なデータ分析については今後検討していくみたい。現状では、軽貨物車はEVの車種が販売されているため、EVとの親和性が高いと考えるが、大型トラックなどはEVの車種自体がないため、合成燃料の活用や水素リーダー都市プロジェクトでも推進しているFCVの活用などにより、脱炭素化を図っていくことが福岡市の特性とも合っていると考えている。	●	●
3	カーボンニュートラルの実現に向けて、二酸化炭素の吸收源となる緑の質的向上を図る取り組みが必要と考える。そのため、緑の面積だけでなく、緑の質を評価する指標についても検討した方が良いと思う。	緑の質的向上は「カーボンニュートラル」や「ネイチャーポジティブ」の観点からも重要な視点と考えており、「緑の基本計画」を所管する住宅都市局とも連携を図りながら検討を進めていく。	●	●

2 次期計画の方向性（めざすまちの姿）

整理番号	委員意見	対応方針	今までに対応	次回以降で対応
1	案1の「アジアのモデル都市」と言える都市は少なく、唯一福岡がそう言える都市と思うので、福岡らしさという観点からも入れてもらいたい。	審議会総会での議論を踏まえ、資料2において、めざすまちの姿（案）・考え方・修正のポイントを提示させていただいている。	●	
2	案1の「アジアのモデル都市」は魅力的なキーワードである。また、「循環」についても、循環経済など、国の目標に入っており、読む人にイメージを広げてもらえる象徴的な言葉であるため、重要であると思う。	また、めざすまちの姿をより鮮明にするとともに、計画の理念を伝わりやすくするため、めざすまちの姿の下に行動指針を掲げることとしており、委員意見等を踏まえ作成している。	●	
3	案1の「アジアのモデル都市」について、これだけ立派な計画を作るのであれば、「世界のモデル都市」でも良いのではないか。		●	
4	案1でも良いと思ったが、冒頭に都市という言葉があって、最後にまた都市が出てくるのはやや違和感がある。		●	
5	案1について、「都市環境と自然が調和した」の「環境」は自然と同じような意味合いに感じるため、環境という言葉は入れない方が良い。		●	
6	案1と案2を組み合わせた表現が良いのではないか。また、「心豊かに暮らせる」が抽象的でわかりにくく感じた。		●	
7	環境基本計画であることを考えると、案2の「環境」という言葉が用いられていることに違和感を感じる。		●	
8	案2の「環境・経済・社会が好循環した」や案3の「快適環境都市」などはやや固いと思う。		●	
9	めざすまちの姿の議論にあたっては、福岡市の成長戦略の中で、環境政策がどのように貢献するかが読み取れる文言があるとよい。 また、一人ひとりが環境に対して行動すればするほど、まちが発展することをイメージできる言葉が良い。		●	